緊急事態宣言で自粛していましたオーラルケア（訪問口腔ケア）を

再開しました。新型コロナウィルスの口の中に最も多いという「やっかいさ」から、児童や高齢者事業所での歯磨きケアの自粛や社会的にも歯科通院の減少により虫歯の発生者が多く出ているそうです。

こすもすの里では、支援時は「マスク」「手袋」「フェイスガード」を着用して「今までと変わらず、しっかりと歯磨き支援」をしています。

それでも障がいや高齢化により、より専門的な口腔ケアが必要との視点から長年、オーラルケアに取り組んでいました。完全防備の衛生士と歯科医師により「ＷＩＴＨコロナの口腔ケア」が再スタートしました。利用者の方々も拒否や戸惑うことなく、大きく口を開けて

しっかりとケアを受けています。　　　　　　総主任　　小森

**オーラルケア（訪問口腔ケア）が再開**



